

公共・公用施設の現状

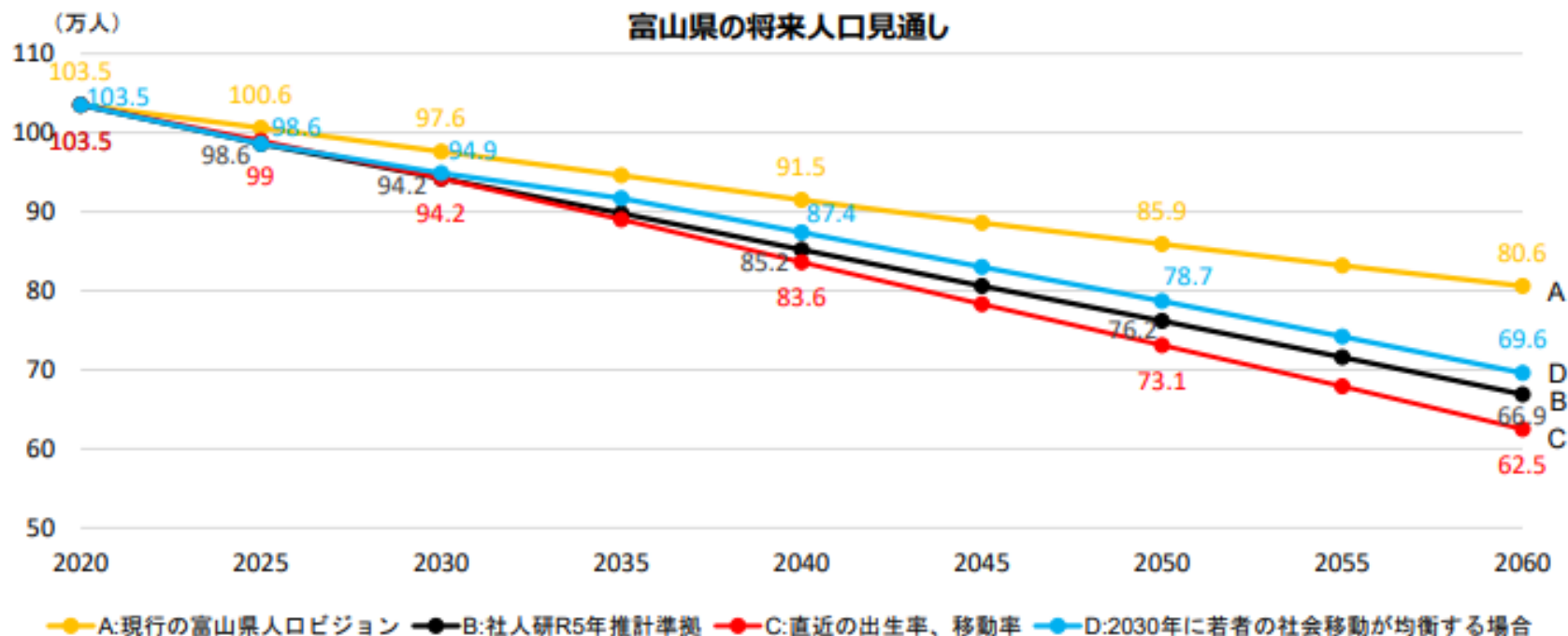
2060年にあるべき姿から考える



施設のあり方について

将来推計（富山県・全体）

- 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計や直近の指標を用いて試算した結果、富山県の将来人口は2060年には60万人台まで減少する見込み
- 2030年に若年世代の社会移動が均衡する場合、2060年に約70万人となる見込み



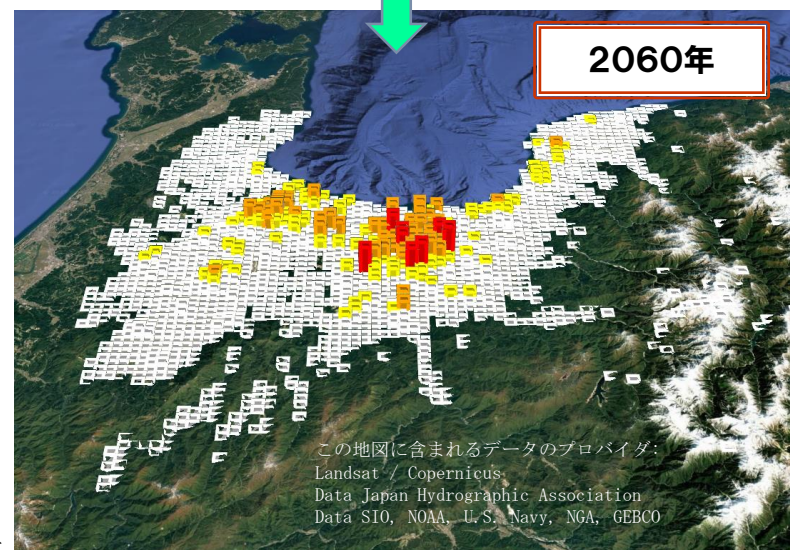
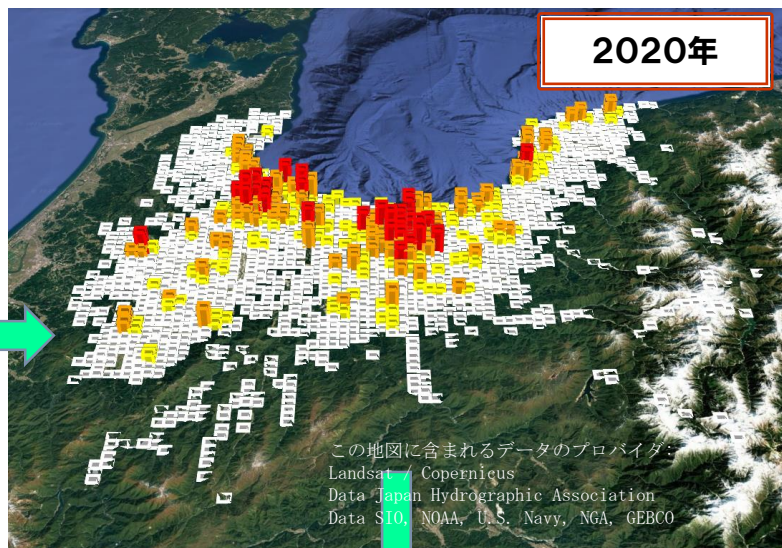
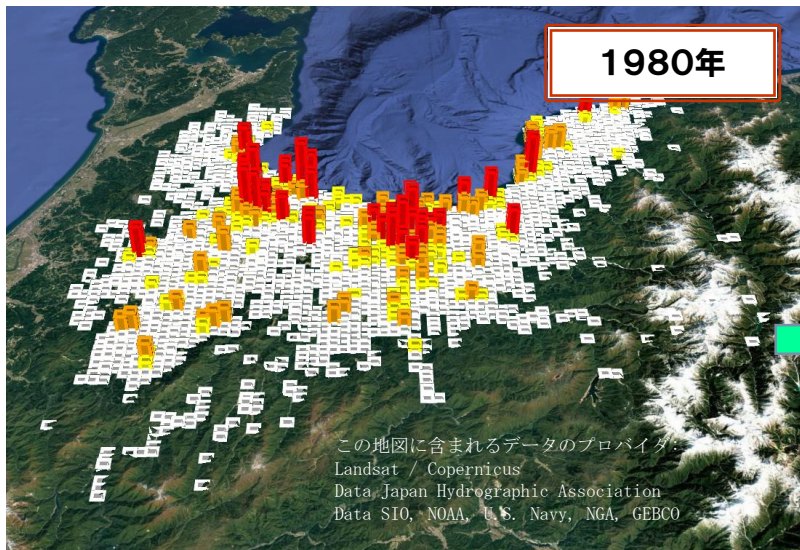
（出所）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」をもとに富山県試算

【試算の仮定等】

- A：現行の富山県人口ビジョン…自然増減：2030年：1.9、2040年：2.07、社会増減：2020年までに若者（15～34歳）の移動均衡
- B：社人研R5年推計準拠…自然増減：2025年：1.31、2030年：1.35、2035年：1.39、2045年：1.40、2050年以降：1.40程度で推移
社会増減：2025～2030年の間に転入超過に転じ、以降継続
- C：直近の出生率、移動率を用いた試算…自然増減：社人研推計（R5年推計）による2025年の出生率（1.31）が継続（現行の水準が継続すると仮定）
社会増減：独自試算（2023年富山県人口移動調査をもとに試算）した2023年の移動率が今後も継続
- D：2030年に若者の社会移動が均衡する場合…自然増減：社人研推計（R5年推計）に準拠
社会増減：2023年の15～34歳の転出超過数（※）が段階的に縮小（※2020人、総務省「2023年住民基本台帳人口移動報告」より）

県内の人口分布の状況と将来推計

1980年、2020年、2060年の人口メッシュを経年で見ると、かつて中心部に集中していた人口が広いエリアに拡散し、人口減少とあいまって人口の低密度化が進行している。



凡例	
	1000人未満
	1000人～ 2000人未満
	2000人～ 4000人未満
	4000人～

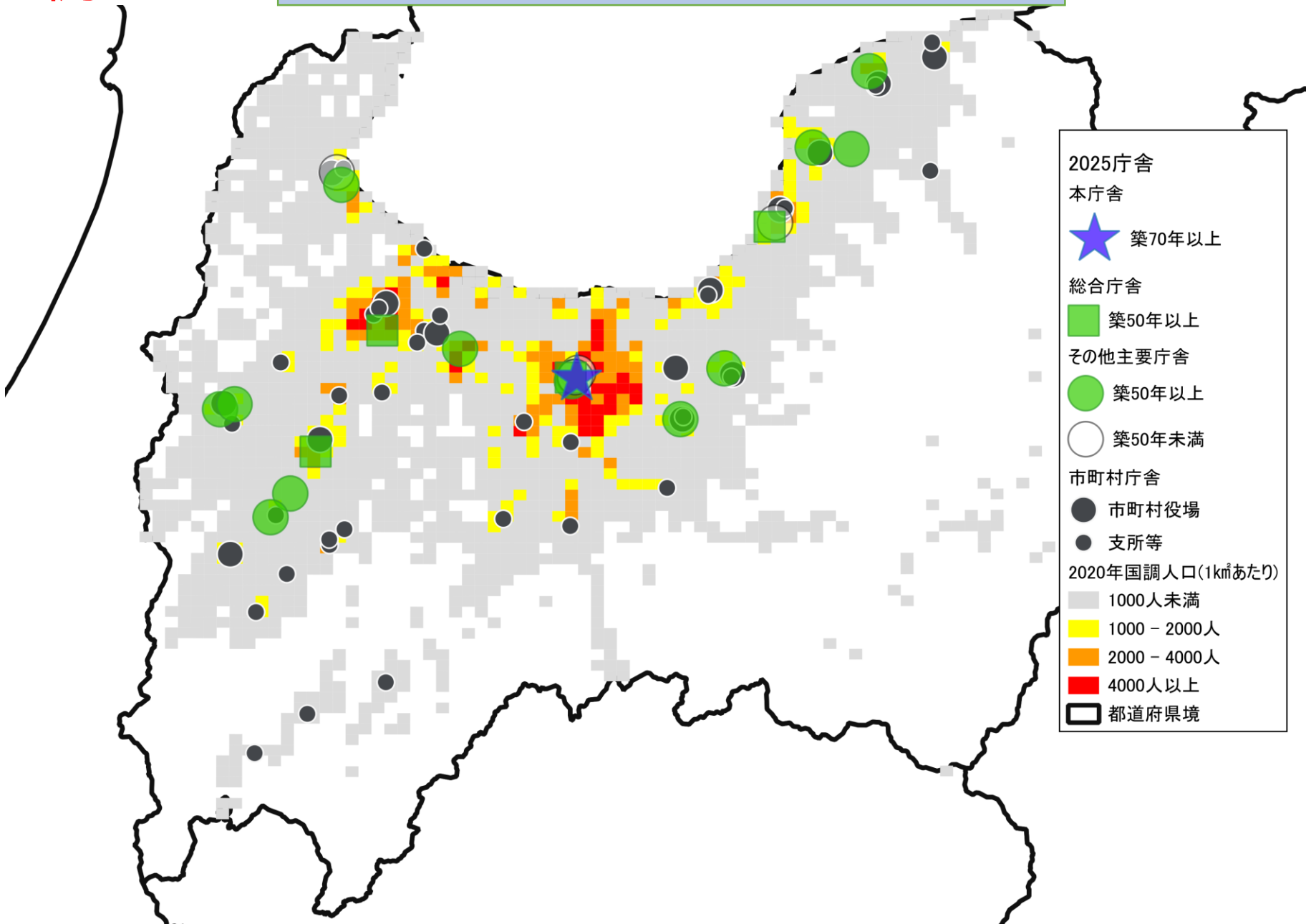
(出典) 1980年：都市構造可視化計画によるデータを Google Earth上で表示
2020年～2060年：国土数値情報 1kmメッシュ別将来推計人口データ

(R6国政局推計) による人口メッシュをGoogle Earth上で表示

例えば…

2025年現在の行政庁舎

県・市町村
の主なもの



2025庁舎

本庁舎



築70年以上

総合庁舎



築50年以上

その他主要庁舎



築50年以上



築50年未満

市町村庁舎



市町村役場



支所等

2020年国調人口(1km²あたり)



1000人未満



1000 - 2000人



2000 - 4000人

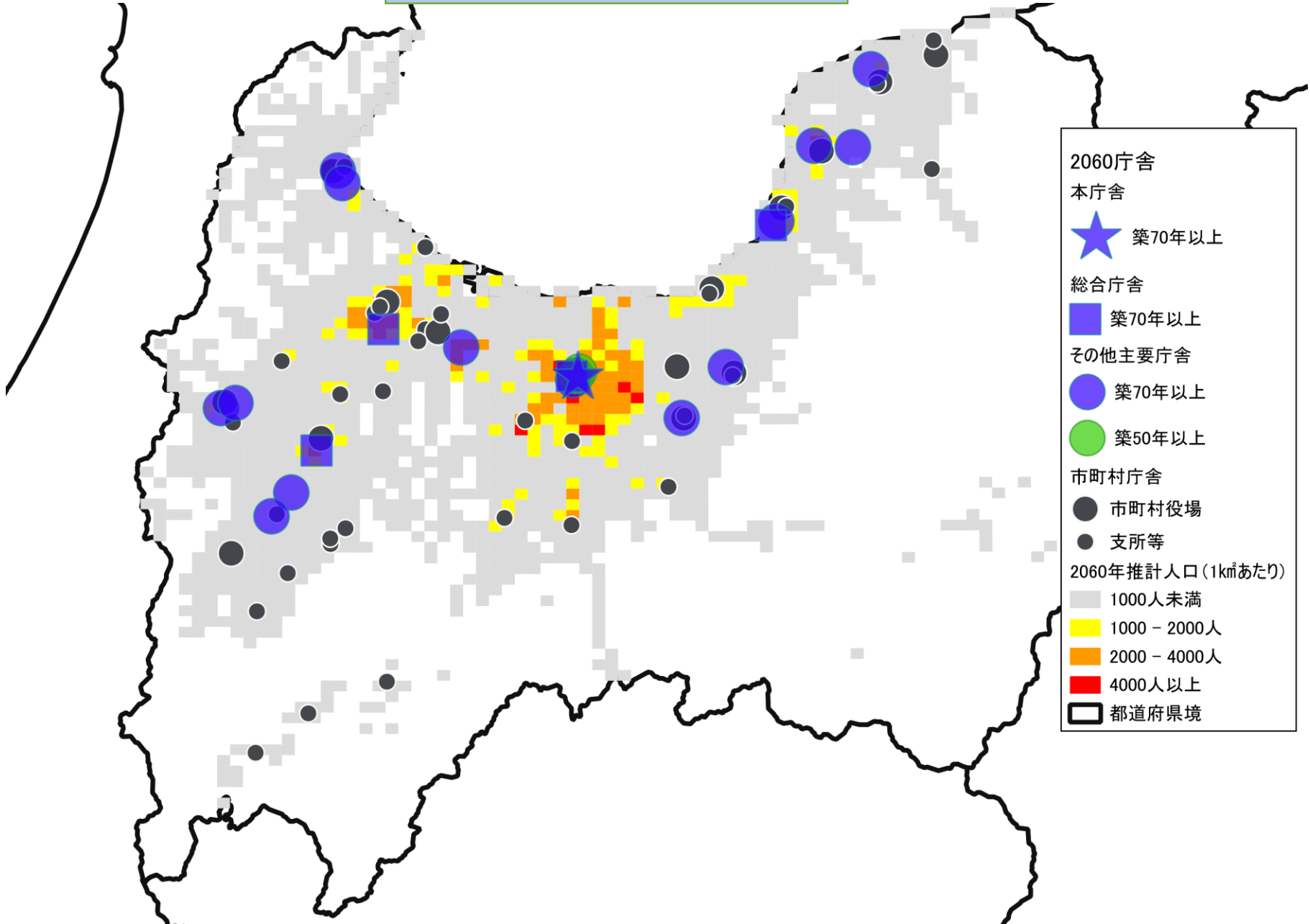


4000人以上



都道府県境

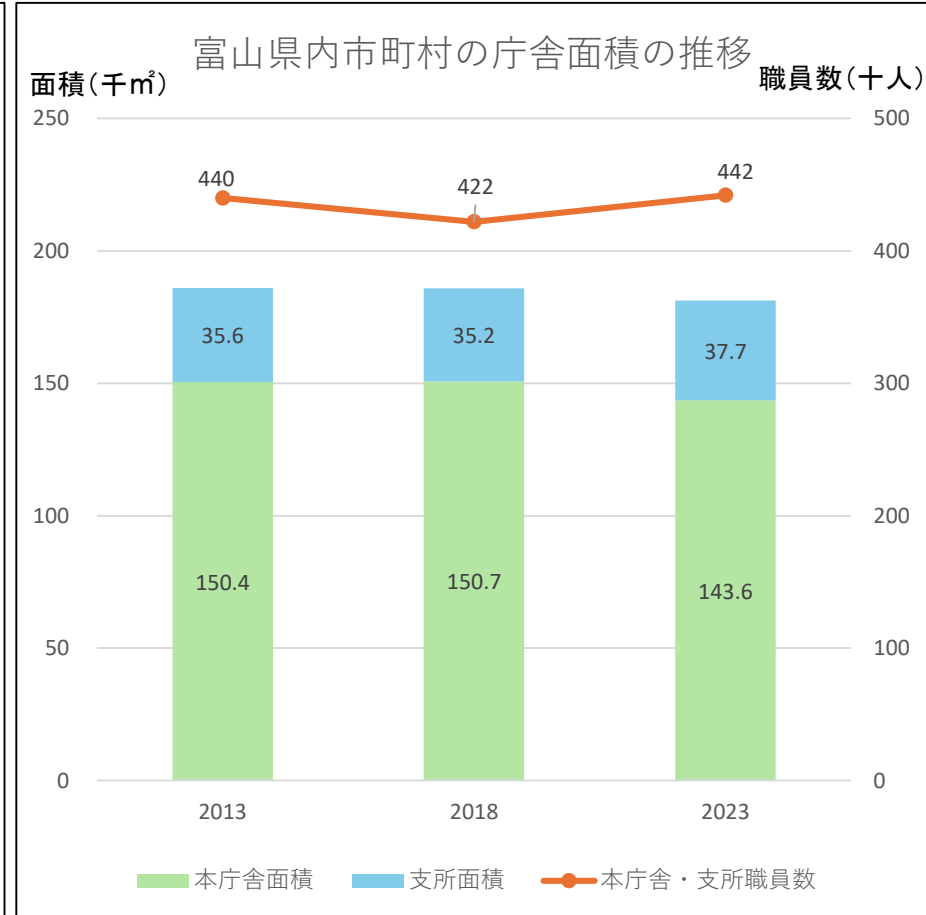
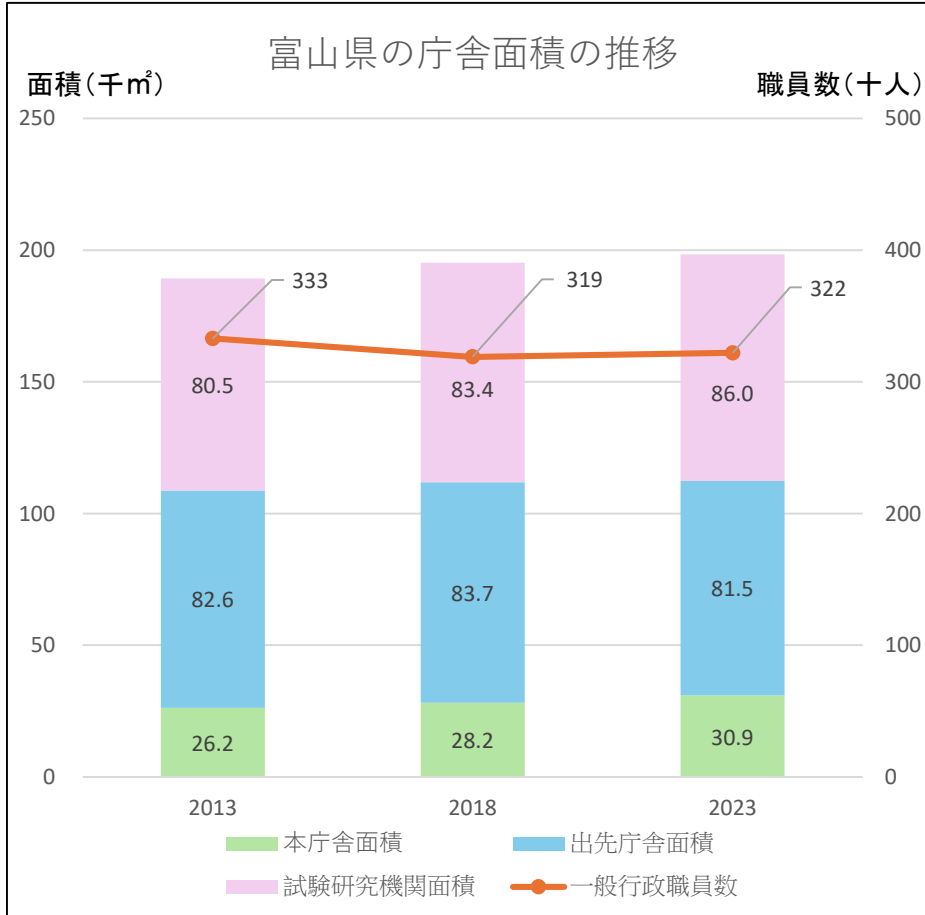
2060年には…



- 2060庁舎
- 本庁舎
 - ★ 築70年以上
- 総合庁舎
 - 築70年以上
- その他主要庁舎
 - 築70年以上
 - 築50年以上
- 市町村庁舎
 - 市町村役場
 - 支所等
- 2060年推計人口(1km²あたり)
 - 1000人未満
 - 1000 - 2000人
 - 2000 - 4000人
 - 4000人以上
- 都道府県境

県市町村庁舎の延床面積の推移

- ・ 県の庁舎では、試験研究機関の面積が増加し、庁舎全体としては微増傾向にある。
- ・ 市町村の庁舎面積は、合併による分庁舎方式の見直しなどにより、本庁舎面積は減少している。



注：試験研究機関は、環境科学センター、衛生研究所、薬事総合研究開発センター、産業技術研究開発センター、農林水産総合技術センターを指す。
 (出典) 県庁舎面積、市町村庁舎面積、市町村職員数(本庁舎、支所・出張所)は総務省公共施設等状況調査 県一般行政職員数は総務省定員管理調査

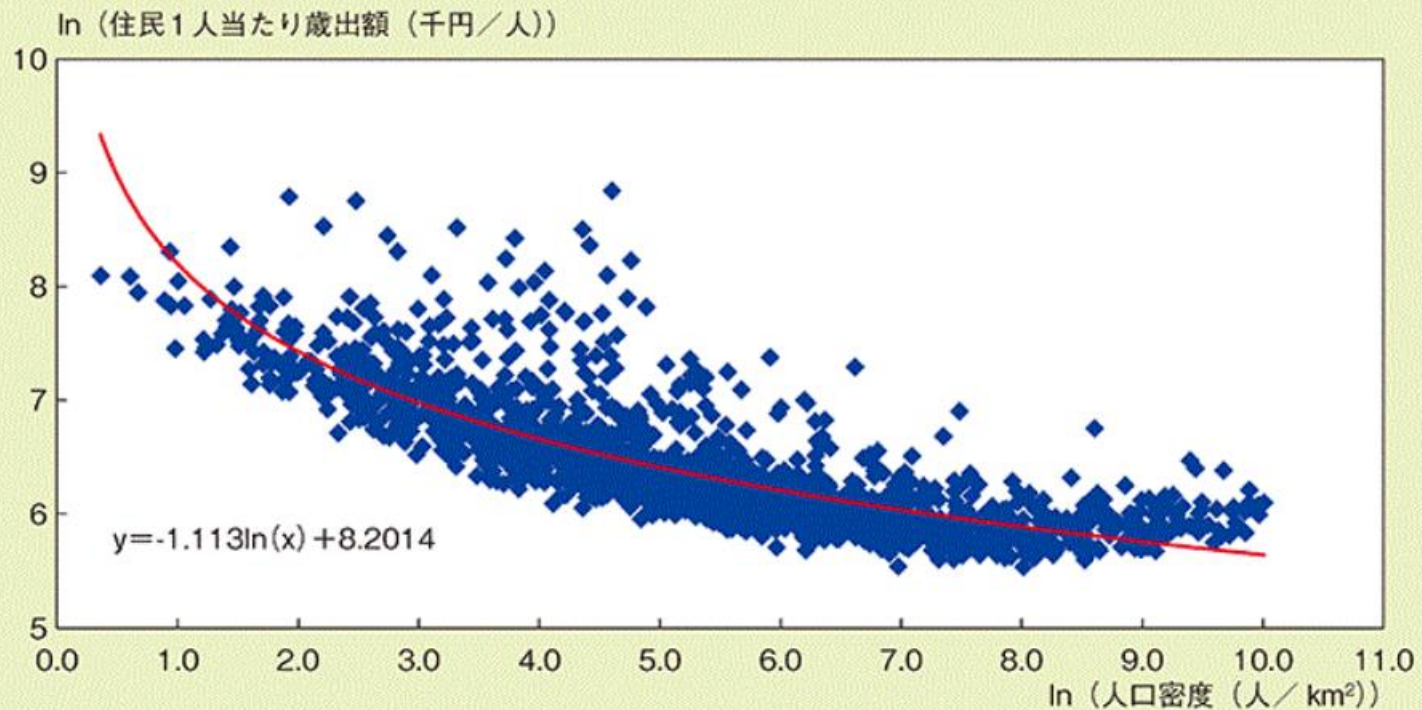
人口密度と行政コスト

人口密度と行政コストの間には、人口密度が高いほど一人当たり行政コストは小さくなる傾向がある。

第2-2-14図 人口密度と行政コスト

人口密度が高いほど一人当たり行政コストは小さく、人口減少地域のインフラ維持は将来困難に

(1) 人口密度と行政コスト



「未来をつかむTECH戦略」の背景

- 人口減・高齢化などの「静かなる有事」が進行する日本は課題山積。既存の社会システムへのボディブローとなり、2030年代までには経済や組織、インフラ、福祉等のしくみが立ちゆかなくなるおそれ。
- 「静かなる有事」をチャンスと捉え、2030年代に実現したい未来の姿から逆算し、アグレッシブなICT導入により「変革の実行」に繋ぐための改革プランとして、「未来をつかむTECH戦略」を策定。
- この戦略の実行を通じ、日本の中長期的な成長戦略に掲げる「Society5.0」の実現などに寄与。

静かなる有事



「未来をつかむTECH戦略」

「静かなる有事」をチャンスと捉え、アグレッシブなICT導入により「変革の実行」へ

CHANCE to CHANGE
「静かなる有事」 by TECH 「変革の実行」
「ICT」

- 変革実行の8か条**
- M ムーンショット「逆算」
 - O オポチュニティ「挑戦」
 - V バリュー「脱皮」
 - E エコノミクス「喚起」
 - F フォーカス「決断」
 - A アグレッシブ「攻め」
 - S スーパーダイバーシティ「活躍」
 - T トラスト「信頼」

- 実現したい未来の姿**
- ＜人づくり＞ I インクルーシブ(包摂)
 - ＜地域づくり＞ C コネクティッド(連結)
 - ＜産業づくり＞ T トランスフォーム(変容)

TECH戦略・政策パッケージ

変革する日本

Society5.0の実現



【注】「Society5.0」とは、狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く新たな社会。「未来投資戦略2017」(H29年6月閣議決定)等に位置づけられている。

SDGsの達成



【注】「SDGs(持続可能な開発目標)」とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016～2030年の国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、発展途上国のみならず、先進国も取り組む普遍的目標。

変革実行の8か条 「MOVE FAST」

第30.8 総務省情報通信審議会情報政策通信部会
IoT新時代の未来づくり検討委員会資料(抄)

Moonshot 実現したい未来の姿(ムーンショット)を設定し、そこから逆算して対策を立案する。

- ✓ 実現したい未来の姿について、現在の延長線ではない非連続で高めのムーンショットを設定する。
- ✓ そこから逆算し、現時点から社会全体で克服すべき課題や政策の工程表を絞り込んで立案する。



Focus 持続可能性を重視し、選択と集中を通じて、ムダなものは止める決断をする。

- ✓ 変革期でのサステナビリティを考慮し、産業のコアビジネス集中、地域のコンパクト化等を図る。
- ✓ 止めるものをリスト化し、費用対効果や副作用を考慮した上で、大胆にスクラップを断行する。



Opportunity 芽生えた機会を逃さず、柔軟・即応のアプローチで挑戦する社会風土にする。

- ✓ 完璧な準備を求めずアジャイルなアプローチを許容し、「まずはやってみる」の挑戦を社会的に支援する。
- ✓ 新技術への過剰なゼロリスクを要求せず、導入のメリット・リスク・コストを客観的・冷静に評価する。



Aggressive 人口減・高齢化を迎える中で、あらゆる分野で攻めのICT導入に取り組む。

- ✓ xTECHを行動原則とし、あらゆる分野での業務効率・生産性の改善や利便性の向上を図る。
- ✓ 人口減の進行を念頭に、ためらわずにAIやロボットの導入による自動化・無人化を進める。



Value 評価基準を量(ボリューム)から質(QoL)に転換し、成熟国家の価値観へ脱皮する。

- ✓ GDPや人口など規模を追う指標より、一人当たりGDP・幸福度などQoLを表す指標を重視する。
- ✓ QoLの参照基準とする指標群を見える化し、国際社会の中で日本が担う役割を明確化する。



Superdiversity 年齢区分等の画一化を改め、多様な選択肢の中で誰でも活躍できる制度にする。

- ✓ 65歳以上を一律に高齢者と見る傾向を見直し、人生100年時代に合う公的制度に移行する。
- ✓ 働き方改革、学び・働き直し、複属、多国籍雇用など、タイバシティに富む生き方を支える環境を創る。



Economics 生産性を高め所得を増やすとともに、国内外の需要を徹底的に喚起する。

- ✓ 労働投入減を織り込み、資本による代替を進めつつ、年率2%超の生産性向上を目指す。
- ✓ 高齢者の投資促進、直接投資の呼び込み、外需の開拓など、需要掘り起こしのターゲット化を図る。



Trust 進展する技術の制御可能性、社会倫理、濫用回避等を確立し、信頼を高める。

- ✓ 導入技術のブラックボックス化を回避し、制御可能性、社会倫理、リスク等の評価システムを確立する。
- ✓ サイバーセキュリティ対策を徹底し、技術の濫用を防ぐための分析と回避策によりリスクを最小化する。



H30.8 総務省情報通信審議会情報政策通信部会 IoT新時代の未来づくり検討委員会資料(抄)



働く人 職場スイッチ

遠隔で会議に参加、現場ではホログラムで表示

授業も遠隔で実施。

複数の仕事に就き、時間の切り売りで個人の能力を最大限発揮。家でカフェでも、スイッチ1つで切り替わるバーチャル個室で効率サポート。

I インクルーシブ

年齢・性別・障害の有無・国籍・所得等に関わりなく、誰もが多様な価値観やライフスタイルを持ちつつ、豊かな人生を享受できる「インクルーシブ(包摂)」の社会

高齢者 健康100年ボディ

ARで山頂までの道のりや天気等のリアルタイムの情報をメガネ型ディスプレイに表示。

補助アームや補助レッグを装着して多行をサポート。

体全体のバランスが取れるよう、個人の身体の状態に合わせて補助デバイスが自動制御

ハイキングに集まったのは約80~100歳。皆元気一杯だが、身体の一部に補助アームやARグラスなどを装着。

しごとは複業、働く場所や組織に囚われず、マルチな才能を発揮

人生100年、頭や身体の衰えはハイテクでカバーし、元気に活躍

読み・書き・デジタル、世界の人材と戦う武器を幼少期から装備

自分の選んだメニューで、会議の内容を翻訳して自在にコミュニケーション

ロボットも家族の一員、人間とロボットが、会話や生活サポートを通じ共生

子ども パノラマ教室

ドローン操作プログラムのシミュレーション画面も教室の壁などに表示

海中、宇宙空間、人体の体内や、過去の様々な時代を、教室にいながらVRで体験学習

壁や天井、気がディスプレイになり、プログラミングで作成したアプリのデモも表示。VRではいろいろな地域・時代の体験学習が可能に。

ロボット お節介ロボット

お節介りさん、今日は早くお帰りなさい。さ、お帰らせましょう。

体調はどうですか？ 朝食を食べたら薬も飲みましょう。

今日は早くお帰りなさい。温かいジャケットを羽織ったらどうですか。

目覚め・歯磨き・着替え・朝食などの忙しい朝支度をスムーズに準備させてくれるお節介な手強いロボット。

障害者 あらゆる翻訳

資料の内容が音声に「翻訳」

Thank you

デバイスがどんな言語間の言葉でも文字に「翻訳」

目や耳が不自由でも、外国語が苦手でも、自分の選んだメニューで会議の内容を翻訳して自在に伝えるシステム。

H30.8 総務省情報通信審議会情報政策通信部会 IoT新時代の未来づくり検討委員会資料(抄)

自治体 どこでも手続

レストランの中でも、どこにいても手続可能。

やりたいことを伝えればAIが自動で準備。

24時間受付のネット窓口が当たり前となり、画面をさわると表れる忠実で有能な執事ロボットが、お役所イメージを刷新。



C コネクティッド

地域資源を集約・活用したコンパクト化と遠隔利用が可能なネットワーク化により、人口減でも繋がったコミュニティを維持し、新たな絆を創る「コネクティッド(連結)」の社会

- 24時間ネットで受付 忠実で有能な執事ロボットがお役所イメージを刷新
- 大災害が発生しても ワイヤレス給電などで、途絶えぬネットワークを維持
- 医療が24時間見守り、病気が予防・早期発見で治療も超進化
- 自動運転の空陸両用タクシーが過疎地や高齢者の足となり、事故や渋滞も大幅解消

防災 あちこち電力

被災地の避難施設でも安定的に電力が供給され、通信を確保。

地震・津波が起こっても遠隔(宇宙)から給電するシステム。

超大規模な災害が発生しても、ワイヤレス給電などあちこちで電力確保。決して途絶えない通信で、避難誘導や安否確認に威力発揮。

健康医療 いつでもドクター

バイタルデータは日中1時間でもセンサーなどで簡単に収集。検査やナゾミシ治療のための注刺もモスネードが行う。

自宅のバイタルデータも病院・施設内で集約して診断や検査を省力化。

重症な場合は再生医療で必要な遺伝子をもった動物(細胞銀行)移植

外科的治療が必要な場合、手術を繰り返さずロボットが光や超音波で治療。

家でも街中でもインプラント端末やセンサーで健康管理をサポート。異常があればAIで簡単な診断を行い、専門医が早期に超長距離治療。

ツーリズム 時空メガネ

ARで好きな時代を再現 音や香りなども再現することで、より感動的な体験に

設定した時代に応じて風景を再現

メガネを掛けるとそこに城があるかのように。

当時の景色や人々もARで再現。

歴史のある観光名所など、ARで好きな時代の風景を再現。音や香りなども再現することで、より感動的な体験に。

公共交通 クルマヒコキー

行き先を告げると、あとは目的地まで自動運転

自動運転の空陸両用タクシーが近中距離の輸送手段に成長。過疎地や高齢者・障害者の足となり、事故や渋滞も大幅解消。

H30.8 総務省情報通信審議会情報政策通信部会 IoT新時代の未来づくり検討委員会資料(抄)



金融・決済 らくらくマネー



支払は完全キャッシュレス。購買履歴の作成や信用データの形成も自動化でき、家計管理・借入れや各種申請にも簡単に活用。

T トランスフォーム

設計の変更を前提とした柔軟・即応のアプローチにより、技術革新や市場環境の変化に順応して発展する「トランスフォーム(変容)」の社会

買い物は完全キャッシュレス。購買履歴の作成や信用データの形成も自動化でき金融サービスが簡単に

農業はロボット耕作、配達はドローンで自動化 人手不足・高齢化を解消

ドローンや自動運転の無人配達を自由に選び、暮らしに必要な買い物を楽々調達

データを買って我が家の3Dプリンタで製造 匠の技も簡単に再現

家庭や有名レストランの味をAIが正確かつ高速で再現する料理マシンが登場

流通・運輸 えらべる配達



配達ドローンが自宅の配達スポットに荷物をお届け。

ドローンが空から、ライドシェアの車が玄関に、スーパーが丸ごと近所に。色々な無人配達をネットで選べて、買い物難民も解消。

一次産業 全自動農村



農業は土地の集約化による大規模農園化。トラクターなどは完全自動化。全てIoT、ロボット、ドローンによる管理で製造される。

農業など地場のなりわいはIoT・ドローン・ロボットが担い、人手不足や高齢者の負担を解消。生産性も高まり、景観も維持。

サービス業 三つ星マシン



メニューを選べばあとは料理マシンにお任せ

各地の素材を使いつつ、個人の健康状態も加味しながら、家庭や有名レストランの味をAIが正確かつ高速で再現。

ものづくり 手元にマイ工場



操作に不慣れな人も地域で助け合い。

ちょっとした日用品は自分で作れるように。コンビニ「モノ」から「データ」を売る時代へ。

日用品や雑貨など、データを買って自分でプリント。日頃学んだプログラミングで世界に一つだけのデザインに加工。